

定期考査問題研究

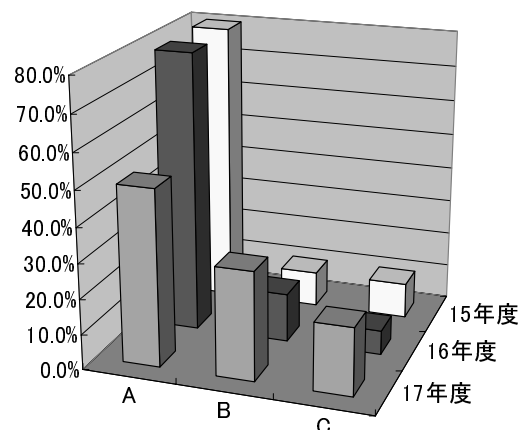
富山県立桜井高等学校

八幡 久康

1 はじめに

平成 16 年度から行っている情報の定期考査分析も 3 年目を迎えている。当初ほとんどの学校が情報 A での履修であったが、平成 17 年頃から情報 A が 5 割近くを占めるものの、情報 B,C へとシフトされてきていることがわかる。

ある程度科目毎のデータが揃ってきていることから、情報 A, B, C 毎の細かな分析も可能と思われるが、私の力不足分析と時間不足から、例年と同様の分類を踏襲し、出題分野と出題形式の 2 点による分類を行うこととした。



1.1 出題分野

出題分野の分類は以下の 4 領域、30 分野である。

- ハードウェア、ソフトウェア、コンピュータの一般概論、アプリケーションソフトウェアの使い方に関する領域（項目 1～8 分野）
- デジタルデータの表現方法、処理方法、計算処理などに関する領域（項目 9～18 分野）
- ネットワークを利用した社会生活等に関する領域（項目 19～25 分野）
- 情報モラル等に関する領域（項目 26～30 分野）

分類にあたっては、各校からの定期考査を単問ごとに分類し各項目に分類した、1 つの問題で、複数分野にまたがった問題に関しては、問題の意図を読み取り、なるべく作問者の意図にあうように分類したつもりではあるが、分析者の読み違いということも考えられ、集計数が異なる場合も考えられる。

1.2 出題形式

出題形式については、以下の 7 つの形式に従って分類している。基本的に小問での分類としたが、同じ設問の中で出題形式が変化したりするものがあったりするなど機械的に分類できないものなどがあつた。これも出題分野と同様に分析担当者により若干の誤差が出るものと思われる。

- | | | |
|--------------|---------------|-----------------|
| (1) 解答群からの選択 | (2) ×問題 | (3) 適語記入 |
| (4) 語句説明（記述） | (5) 数計算（求値問題） | (6) 例をいくつか挙げる問題 |
| (7) 感想・考え | (8) その他 | |

2 分析

サンプル数 26 校で調査を行った。昨年度 29 校と比較するとデータ数は若干減少している。各学期ごとの実施科目数を表にしたものが右のものである。

学期	情報 A	情報 B	情報 C	合計
1 学期	12	7	3	22
2 学期	11	7	4	22
3 学期	6	6	2	14

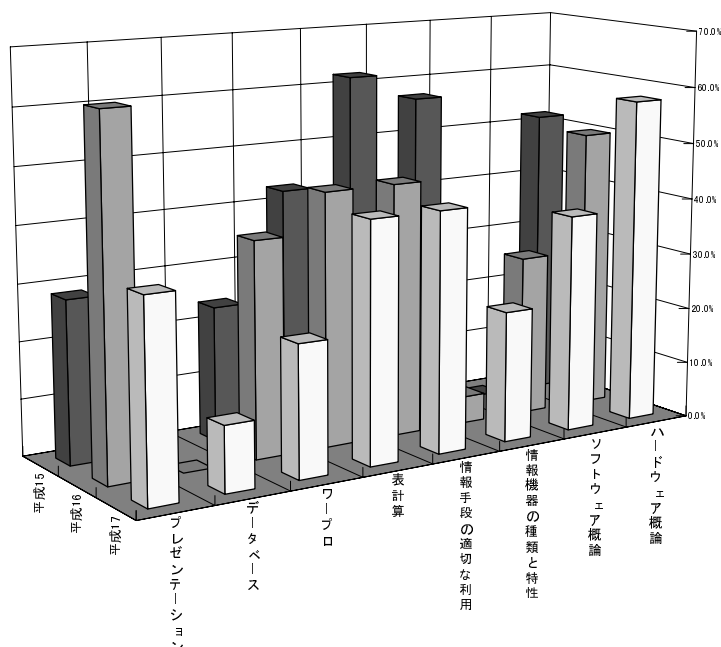
3 学期のサンプル数が少ないのは、課題、作品などペーパーテスト以外での評価を行なっているため推測される。以下前述 4 領域に分けて分析を行なった。

2.1 ハードウェア、ソフトウェア、コンピュータの一般概論、アプリケーションソフトウェアの使い方に関する領域

目立つのは、初年度ほとんどなかった「ソフトウェア概論」に関する出題が昨年度から増加していることや、「情報機器の種類と特性」に関する出題が増加。昨年多かった「プレゼンテーション」に関する出題が減少し、15 年度と同程度になってきている。また情報 B を実施している学校からは、「データベース」に関する出題が増加してきた。

尚、情報 A から、B、C への移行が目立ってきているににもかかわらず、「表計算」に関する出題にほとんど変化がないのは、表計算ソフトの使用頻度の高さ、重要性、様々な活用方法ができるという汎用性を反映しているものと考えられる。

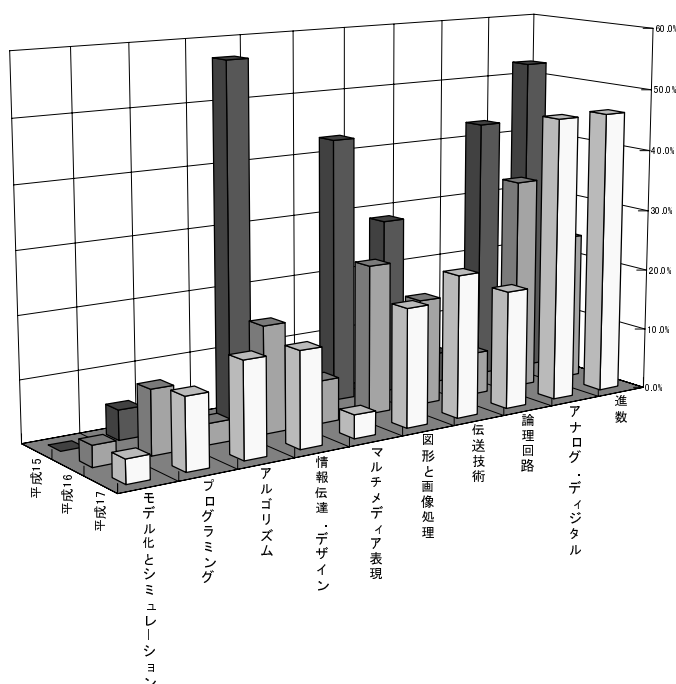
一方「ハードウェア概論」に関する出題は変わらず多くの学校でコンスタントに出題されている。



2.2 デジタルデータの表現方法、処理方法、計算処理などに関する領域

平成 15 年度はこれらの領域で扱う分野において、特定の分野に集中しているが、平成 17 年度はそれらの偏りが減少し、平滑化が進んでいるように思われる。その中でも年度を通して変わらず出題されているものに、「アナログ・デジタル」に関する領域がある。他方「情報伝達・デザイン」分野や「図形と画像処理」分野が減少し、逆に「進数」、 「論理回路」分野が増加している。

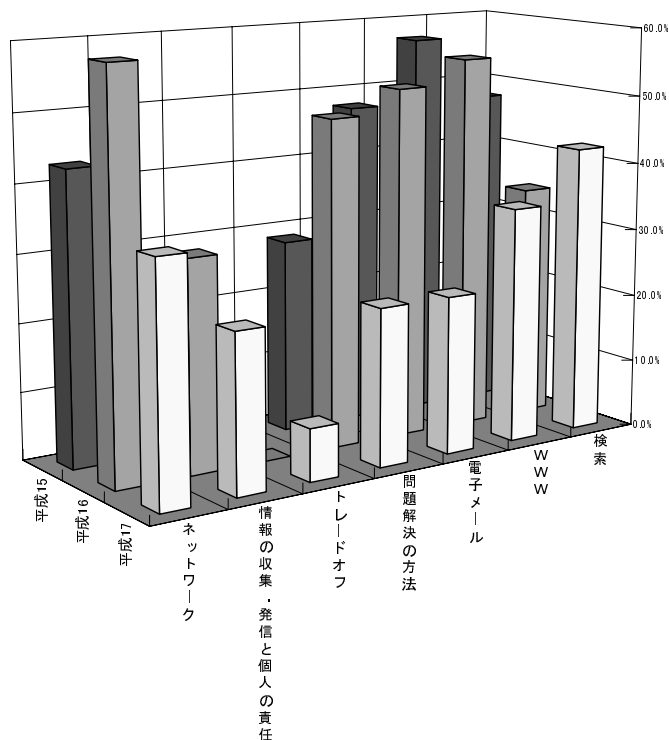
授業において、「アナログとデジタル」の違いを画像を使って説明する場面が比較的多いと思われるが、その違いを情報伝達や画像処理に力点を置いて説明する傾向から、進数や論理回路に力点を置いて説明する傾向が増えてきたとする分析は考え過ぎだろうか。



2.3 ネットワークを利用した社会生活等に関する領域

相対的に16年度より、この分野に関する出題が減少してきたようである。平成16年度は、「WWW」、「電子メール」、「問題解決」、「ネットワーク」の分野の出題率は5割近くを占めていたにもかかわらず、平成17年度は、どれも減少してきており、この4分野で5割を超えた分野はない。「ネットワーク」、「検索」に関する出題が4割を超えているのが目立つ程度である。

減少した分は、前述のデジタルデータの表現方法、処理方法、計算処理などに関する領域など他領域に移行していったものと推測される。

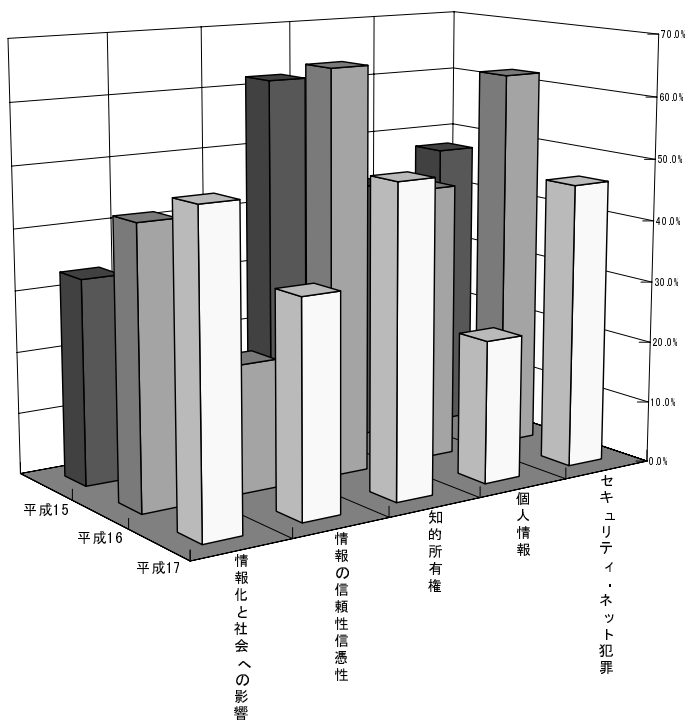


2.4 情報モラル等に関する領域

この分野も平滑化が進んだように思われる。多くの学校で、「セキュリティ・ネット犯罪」に関する出題が5割近くの学校で出題されている。

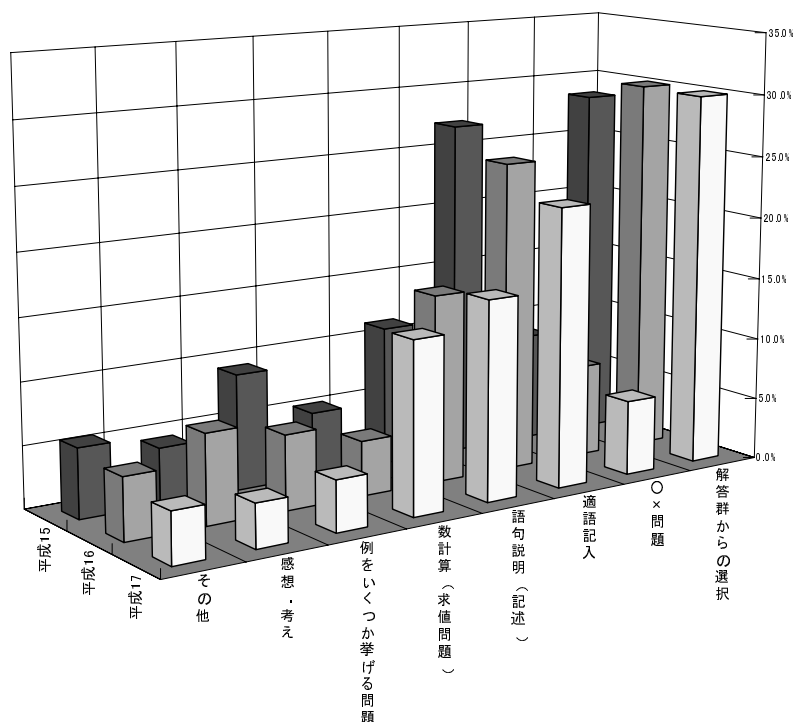
情報化の進展、携帯電話の普及など生徒を取り巻く状況はダイナミックに変化し様々な影響を与えている。このような社会情勢の中、この分野に関する出題が減少することはないと思われる。

各分野では、「個人情報」に関する出題が減り、「知的所有権」に関する出題が多い。加害者の側面、被害者の側面バランスをとりながら教える必要がある。



2.5 出題形式に関する分析

出題形式については、例年とほとんど変わらず、解答群からの選択、適語記入が多い。またこの評価らは読み取れないが、感想・考えを問う問題は、3学期に集中している。前年の近藤教諭の分析にもあったように、「それまでに学んだ知識や理解をもとに、各自の考えや意見をまとめさせるもので」、「思考力・判断力問う」傾向が現れているものと思われる。また、生徒の反応を感想を知り、反省を加え次年度の授業に生かそうとする例もあったことも付け加えたい。

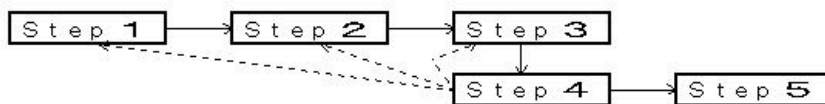


3 ピックアップ問題

各学校からのデータを PDF に変換し、取り込んである。印刷が不鮮明であるのは、画像として保存したものを再度 PDF に変換したものである。なるべくテスト問題の形式をそのままの形で伝えたかった意図があり、このようになったことを了解いただきたい。

3.1 解答群からの選択問題

問題解決の方法は、基本的には次のようにStep 1～5の手順でおこなう場合が多い。



(1).各Stepに当てはまるものを、ア～オからそれぞれひとつずつ選べ。

- | | | |
|----------|---------|------------|
| ア.解決案の実施 | イ.検討・評価 | ウ.情報の整理・分析 |
| エ.問題の明確化 | オ.情報の収集 | |

【1】次の空欄にあてはまる語句を解答群の中から選び記号で答えなさい。

- (1) 私たちが日常生活のなかで使っている量には、連続的な量であらわす(㉑)と、連続的な量を一定の間隔でくぎった数字であらわす(㉒)がある。
- (2) アナログ波形を一定間隔で区切ることを(㉓)といい、区切った点を(㉔)という。そして、この点の値に最も近い整数値を求めることを(㉕)という。これらにより得られた数値を2進数にすることを(㉖)という。
- (3) アナログデータをデジタルデータに変換することを、(㉗)という。
- (4) 画像の精度は、(㉘)の数で決まり、(㉙)で表現する。
- (5) カラー静止画像の国際標準符号化方式を(㉚)という。
- (6) 主に線画を対象とし、座標などの情報を用いてあらわすのが、(㉛)ソフトウェアである。
- (7) 音や画像データの情報量はひじょうに大きいので、一定のルールでデータのサイズを小さくする(㉜)技術が用いられる。また、これを元のデータに戻すことを(㉝)という。
- (8) 動画は、静止画を連続的に表示したものであり、1秒ごとに再生する画像のフレーム数を(㉞)とよび、(㉟)であらわす。

解 答 群					
ア. DA変換	イ. f p s	ウ. デジタル量	エ. 量子化	オ. 縮小	
カ. アナログ量	キ. 符号化	ク. G I F形式	ケ. 信号化	コ. ペイント系	
サ. d p i	シ. サンプリング	ス. J P E G形式	セ. 再生	ソ. AD変換	
タ. 解像度	チ. フレームレート	ツ. 標本点	テ. 圧縮	ト. 画素	
ナ. 階調	ニ. ドロー系	ヌ. 解凍	ネ. R G B	ノ. 座標点	

2. 次の説明は、デジタル化の利点である。これらと関係の深いものを下のア～キから選び記号で答えなさい。

- (1) アナログ量を明確にあらわしたり比較したりできる。
- (2) さまざまなメディアに記録したり運んだりすることができる。
- (3) 文字・音・画像など、質の違う情報を統合できる。
- (4) 伝送や複製による品質劣化がない。
- (5) 情報通信ネットワークを用いて伝送できる。
- (6) コンピュータを用いて加工・処理がしやすい。
- (7) 検索・ランダムアクセスがしやすい。

ア インターネット	イ アナログ量の数値化
ウ ワープロ、画像処理ソフトウェア	エ CD、HD、MO ディスク
オ マルチメディア	カ データの誤りの検出・訂正
キ キーワード検索	

3.2 ×問題

【4】以下の文章で正しいものには○を、間違っているものには×を記述しなさい。

- ①掲載の許可を得た写真であれば、自分のWebページに掲載する場合に修正を加えても良い。
- ②教室内で先生が生徒に対して授業を行う場合は、許可なく著作物を利用しても構わない。
- ③自分の書いたものであれば、有名なキャラクターでも、Webページ上の中に使って構わない。
- ④出展の明示さえすれば、許可なく点字に直してしまうことは問題ない。
- ⑤ソフトウェアのコピーは原本を傷つけずに行えるため、正式に購入していれば無制限に行える。
- ⑥文化祭で講演した著名人の様子をビデオで撮影し、学校の関係者に配布しても構わない。

2. 個人用のパスワードを設定する時の注意事項として正しいものには○、そうでないものには×を付けなさい。
- ①速く入力できるように短いパスワードにした。
 - ②忘れないように自分の誕生日にした。
 - ③辞書には載っていない言葉にした。
 - ④大文字と数字と小文字の組み合わせた。

3.3 適語記入

Ⅲ. 情報の表現形式を変換した場合に、情報の一部が失われたり、逆に情報が付け加わることがある。

次の場合、失われる情報、付け加わる情報はなにか考えよ。

- (1) サッカーの試合をテレビ放映する。

失われる情報 _____ 付け加わる情報 _____

- (2) 地方の名物を食べて、その記事を写真と文章で表す。

失われる情報 _____ 付け加わる情報 _____

- (3) 詩を、ラジオ番組で朗読した。

失われる情報 _____ 付け加わる情報 _____

- (1) そのプログラムを作成したがまだ未完成である。空欄に必要な命令文（命令語や変数名など）を入れプログラムを完成させなさい。（解答用紙に記入すること）

【変数一覧】


- i …… 交換するための比較の回数を記憶する変数名
- j …… 比較・交換の対象となる列番号を記憶する変数名
- wk …… 交換のためデータを一時的に記憶する変数名

```

Sub 並べ替え ()
  For i=9 To 1  -1
    For j=1 To 
       Cells (1, j) < Cells (1, j+1) 
      wk=Cells (1, j)
      Cells (1, j)=Cells (1, j+1)
      Cells (1, j+1)= 
       i f
    Next 
  Next 
End Sub

```

3.4 語句説明（記述）

 次の語句について、簡潔明瞭に説明せよ。

- テクノストレス
- デジタルデバインド

2. 電子メールに関する以下のニュースについて以下の問いに答えよ。

S市が委嘱した市政インターネットアンケートモニター98人への複数あて先電子メールを、職員が誤って「CC」で送信していたことが15日、分かった。同市によると「市特定優良賃貸住宅・高齢者向け優良賃貸住宅に関するアンケート」に答えてもらうため、市公聴相談課職員が13日夕に一齐送信。送信後間もなくモニターからの指摘で、「BCC」と、「CC」を取り違えていたことが判明した。メールはアドレス変更などで届かなかった5人を除く93人に届いた。同課は13日夜、おわび文とともに再度BCCでアンケートを送信し、誤送信メールの削除を依頼した。

共同通信 2004年9月15日付け(一部修正)

(1) BCCとCCの違いを説明せよ。

(2) CCで多数の人にメールを送信したわけだが、どこに問題があるか。

3.5 数計算(求値問題)

(3)

- ① 2進数 1001 と 1011 の和を2進数で表しなさい。
- ② 2進数 101 と 1001 の和を10進数で表しなさい。
- ③ 16進数 5D を10進数で表しなさい。
- ④ 16進数 B8D2 を2進数で表しなさい。
- ⑤ 2進数 1111' 1010 を16進数で表しなさい。
- ⑥ 次の2進数の補数を答えなさい。
(ア) 101 (イ) 1010

5. 次の表は4bitの符号付き整数表現である。この表の負の数の部分を完成せよ。

整数	内部表現			
-4				
-3				
-2				
-1				
0	0	0	0	0
1	0	0	0	1
2	0	0	1	0
3	0	0	1	1
4	0	1	0	0

3.6 例をいくつか挙げる問題

6. 発表をするときは大きな声でしゃべることはもちろんであるが、5W1Hに注意して発表内容を吟味するとより効果的である。1本のCM分析の発表会を思い出し、各問いに答えよ。
- (1) 5W1Hとは何か。Wで始まる英語5つとHで始まる英語1つ答えよ。
 - (2) 1本CM分析の発表では、どのような点に注意して話せばみんなにわかりやすく伝わったのだろうか。3つあげよ。ただし、「大きい声で話す」は除く。

9. (1) 新聞社の Web ページが実際に発行されている新聞より優れている点を挙げよ。

(2) 逆に実際の新聞の方が Web ページより優れている点を挙げよ。

3.7 感想・考え

(3) バリアフリーの観点からあなたが地球博を見た場合、感じたことを書きなさい。(発表のための内容にまとめる 4点)

3.8 その他

プレゼンテーションソフト「PowerPoint」を利用して、次のプレゼンテーションを作りなさい。

(4枚のスライドを自分たちのオリジナルを出して作ってください)

題名「トリノオリンピックについて」

○1枚目のスライド：題名

○2枚目のスライド：期間と場所について (地図を入れる)

期間 2月11日から26日まで
場所はインターネットから

■トリノの位置



競技種目一覧

- ☑ アルペン
- ☑ クロスカントリー
- ☑ ジャンプ
- ☑ ノルディック複合
- ☑ フリースタイル
- ☑ スノーボード
- ☑ スピードスケート
- ☑ フィギュア
- ☑ ショートトラック
- ☑ バイアスロン
- ☑ ボブスレー
- ☑ スケルトン
- ☑ リージュ
- ☑ アイスホッケー
- ☑ カーリング

○3枚目のスライド：主な競技種目 (3種目)

<http://www.joc.or.jp/sports/index.html>
にアクセスしてください。

○4枚目のスライド：メダルをとった日本の選手について

<http://www3.nhk.or.jp/olympic/> にアクセスしてください

※条件としては、

- ・オートシェイプで作った図形をどこかのスライドに挿入する。
- ・インターネットからの画像を使う。
- ・アニメーションを利用する。
- ・作ったファイルは、マイネットワーク¥生徒共有フォルダ¥1年情報の中にある、自分の名前が書いてあるフォルダに保存してください。

資料

平成 17 年度 (年間) 出題分野一覧

番号	番号 科目 分野	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	A実施	B実施	C実施		
		A	B	C	A	A	A	JS	B	B	B	A	A	A	C	C	B	C	A	B	C	A	B	A	B	A	A	50.0%	30.8%	19.2%		
																												校数	%	順位	領域	
1	ハードウェア概論	○		○		○			○		○	○	○				○			○		○	○	○	○	○	○	○	15	57.7%	1	1
2	ソフトウェア概論					○	○		○			○	○	○						○			○	○				○	10	38.5%	10	4
3	情報機器の種類と特性				○				○			○	○							○	○								6	23.1%	16	6
4	情報手段の適切な利用					○	○								○	○	○	○	○	○	○		○					○	11	42.3%	7	2
5	表計算	○	○			○	○		○			○	○				○												11	42.3%	7	2
6	ワープロ				○								○										○	○			○	○	6	23.1%	16	6
7	データベース		○											○								○							3	11.5%	27	8
8	プレゼンテーション	○					○					○							○				○				○	○	9	34.6%	13	5
9	進数	○	○	○					○		○	○	○				○	○	○	○	○	○	○						12	46.2%	5	1
10	アナログ・デジタル	○	○	○								○	○	○	○	○	○	○			○		○						12	46.2%	5	1
11	論理回路		○									○	○	○							○								5	19.2%	22	4
12	伝送技術			○	○								○	○	○			○						○					6	23.1%	16	3
13	図形と画像処理											○	○	○			○			○									5	19.2%	22	4
14	マルチメディア表現															○													1	3.8%	29	9
15	情報伝達・デザイン	○																○	○				○						4	15.4%	24	6
16	アルゴリズム																					○	○						4	15.4%	24	6
17	プログラミング								○		○											○	○						4	15.4%	24	6
18	モデル化とシミュレーション									○																			1	3.8%	29	9
19	検索	○	○		○							○	○						○	○	○	○	○				○		11	42.3%	7	1
20	WWW			○								○	○							○	○	○	○				○	○	9	34.6%	13	3
21	電子メール	○																○	○				○						6	23.1%	16	4
22	問題解決の方法	○				○							○					○	○								○	○	6	23.1%	16	4
23	トレードオフ																						○						2	7.7%	28	7
24	情報の収集・発信と個人の責任						○						○						○									○	6	23.1%	16	4
25	ネットワーク		○	○	○				○			○	○					○			○	○	○						10	38.5%	10	2
26	セキュリティ・ネット犯罪		○		○	○		○				○	○	○		○	○				○	○	○				○	○	13	50.0%	4	3
27	個人情報					○		○				○	○							○			○	○			○	○	8	30.8%	15	5
28	知的所有権	○			○	○		○				○	○	○				○					○	○			○	○	14	53.8%	2	1
29	情報の信頼性・信憑性				○	○	○		○			○	○								○	○	○						10	38.5%	10	4
30	情報化と社会への影響		○	○	○	○	○		○			○	○	○							○	○	○	○	○	○	○	○	14	53.8%	2	1
																												234				
1	解答群からの選択	11	3	1	6	10			10		1	11	10	8	2	1	7	7	5	7	1	12	17	4	4	1	13	152	30.0%	1		
2	○×問題			1	1	2			2			2		1		2		3	3			2	5		3		4	31	6.1%	5		
3	適語記入	5	4	1	4	3	1		11		4	6	9	7	5		7	2	13	3	1	5	11		4		8	114	22.5%	2		
4	語句説明(記述)	3	2	1		4	8		3	2	5	1	2	4	1		4	1	1	5	7	4	15	5	1		3	82	16.2%	3		
5	数計算(求値問題)	1	10	3					6	2	3			2	10		9	3	4	2		12						67	13.2%	4		
6	例をいくつか挙げる問題	1	1	1	1	1			1		1	1	1			1	1		3		2	4		5		1		22	4.3%	6		
7	感想・考え			1	2		1				1	1	1					1			3	1		2		2	1	1	18	3.6%	8	
8	その他	1					3		3		1			1		1					1	2	2			1	3	1	20	4.0%	7	
計		21	20	9	14	20	13	0	36	5	15	21	21	23	19	5	27	20	22	25	18	25	67	9	16	5	30	506				

平成 17 年度 1 学期出題分野一覧

番号	科目 分野	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	A実施	B実施	C実施	領域
		A	B	A	A	A	B	B	A	A	A	C	B	C	A	B	C	A	B	A	B	A	A	55% 校数	32% %	14% 順位	
1	ハードウェア概論	○					○	○	○							○		○	○	○	○	○		10	45.5%	1	1
2	ソフトウェア概論						○	○	○	○					○				○	○				8	36.4%	3	2
3	情報機器の種類と特性				○		○								○									3	13.6%	17	6
4	情報手段の適切な利用				○						○	○			○		○						○	8	36.4%	3	2
5	表計算	○	○				○								○							○		6	27.3%	7	4
6	ワープロ										○								○	○			○	5	22.7%	12	5
7	データベース																						○	0	0.0%	28	8
8	プレゼンテーション								○														○	3	13.6%	17	6
9	進数	○					○	○								○	○							8	36.4%	3	1
10	アナログ・デジタル	○										○	○	○		○								6	27.3%	7	2
11	論理回路		○								○	○	○		○									3	13.6%	17	3
12	伝送技術												○							○				3	13.6%	17	3
13	図形と画像処理										○	○				○								3	13.6%	17	3
14	マルチメディア表現																							0	0.0%	28	9
15	情報伝達・デザイン	○												○						○				3	13.6%	17	3
16	アルゴリズム																							2	9.1%	24	7
17	プログラミング							○																2	9.1%	24	7
18	モデル化とシミュレーション																							0	0.0%	28	9
19	検索	○		○											○	○			○	○				6	27.3%	7	1
20	WWW									○													○	5	22.7%	12	3
21	電子メール																						○	1	4.5%	26	6
22	問題解決の方法	○			○						○		○		○								○	6	27.3%	7	1
23	トレードオフ																							1	4.5%	26	6
24	情報の収集・発信と個人の責任					○				○					○						○			5	22.7%	12	3
25	ネットワーク										○								○	○				4	18.2%	15	5
26	セキュリティ・ネット犯罪					○			○	○		○												6	27.3%	7	3
27	個人情報					○			○	○														3	13.6%	17	5
28	知的所有権	○	○	○	○				○	○	○				○				○	○	○			10	45.5%	1	1
29	情報の信頼性・信憑性			○	○				○	○														4	18.2%	15	4
30	情報化と社会への影響		○	○					○	○									○	○	○			7	31.8%	6	2

		131																						A実施	B実施	C実施	領域
解答群からの選択	○×問題	9	1	4	2	2	6	5	4	2	6	2	1	4	1	6	11	4	3	1	8	82	28%	1			
2	○×問題	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	2	4	16	6%	5				
3	適語記入	3	3	2	2	7	2	4	8	6	5	4	8	1	4	9	3	7	78	27%	2						
4	語句説明(記述)	3	1	1	6	1	2	3	1	4	3	2	9	5	41	14%	4										
5	数計算(求値問題)	7				5	1			10	7	3	3	2	8	46	16%	3									
6	例をいくつか挙げる問題								1	1	1	1	1	3	1	8	3%	7									
7	感想・考え		1					1			1	1				1	5	2%	8								
8	その他	1				2	2	1		1		1	2	1	1	1	1	13	4%	6							
計		16	12	8	6	8	17	4	13	15	15	19	21	8	10	14	9	12	41	9	11	2	19	289			

平成 17 年度 2 学期出題分野一覧

番号	科目 分野	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	A実施	B実施	C実施	領域
		A	B	C	A	A	A	B	B	A	A	A	C	B	C	A	B	C	A	B	B	A	A	50.0% 校数	31.8% %	18.2% 順位	
1	ハードウェア概論			○				○	○			○					○			○			○	8	36%	3	1
2	ソフトウェア概論	○						○	○			○												3	14%	17	6
3	情報機器の種類と特性				○			○			○						○							4	18%	12	3
4	情報手段の適切な利用					○		○							○									4	18%	12	3
5	表計算		○					○											○					8	36%	3	1
6	ワープロ																							0	0%	28	8
7	データベース											○							○					2	9%	21	7
8	プレゼンテーション											○	○											4	18%	12	3
9	進数	○	○	○				○	○			○	○											10	46%	1	1
10	アナログ・デジタル	○	○	○					○	○	○	○												10	46%	1	1
11	論理回路		○																					4	18%	12	4
12	伝送技術			○	○																			5	23%	9	3
13	図形と画像処理											○	○											3	14%	17	5
14	マルチメディア表現																							1	5%	25	8
15	情報伝達・デザイン																							2	9%	21	7
16	アルゴリズム																							3	14%	17	5
17	プログラミング																							1	5%	25	8
18	モデル化とシミュレーション																							0	0%	28	10
19	検索																						○	6	27%	6	2
20	WWW					○				○	○													8	36%	3	1
21	電子メール	○									○													5	23%	9	3
22	問題解決の方法													○										2	9%	21	5
23	トレードオフ																							0	0%	28	7
24	情報の収集・発信と個人の責任																							1	5%	25	6
25	ネットワーク					○	○																	3	14%	17	4
26	セキュリティ・ネット犯罪												○											5	23%	9	3
27	個人情報																							2	9%	21	1
28	知的所有権																							6	27%	6	4
29	情報の信頼性・信憑性																							4	18%	12	2
30	情報化と社会への影響			○																				6	27%	6	4

		120																						A実施	B実施	C実施	領域
解答群からの選択	○×問題	2	1	1	2	6	3	5	5	2	1	1	3	4	3	6	4	1	1	3	3	53	36%	1			
2	○×問題	1	1	1	2	6	3	5	5	2	1	1	3	4	3	6	4	1	1	2	1	1	10	7%	5		
3	適語記入	2	1	1	2	1	1	2	1	1	3	1	2	2	1	1	1	1	1	1	2	23	16%	2			
4	語句説明(記述)	1	1	1	1	1	1	2	1	1	3	1	1	1	1	4	4	1	2	19	13%	3					
5	数計算(求値問題)	1	3	3			1	1		2	1	2		1	1			4	19	13%	3						
6	例をいくつか挙げる問題				1							2		1	1			1	7	5%	7						
7	感想・考え	1	1	1	1	1					1			1	1	1	1	1	1	1	10	7%	5				
8	その他	2			1		1												1	1	1	7	5%	7			
計		8	5	9	6	8	1	7	4	8	6	5	5	6	6	8	9	3	13	17	5	2	7	148			

平成 17 年度 3 学期出題分野一覧

番号	科目 分野	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	A実施	B実施	C実施	領域		
		B	A	A	B	B	B	A	C	A	B	C	B	A	A	43%	43%	14%			
																	校数	%	順位		
1	ハードウェア概論		○		○											2	14.3%	9	6		
2	ソフトウェア概論		○													1	7.1%	13	3		
3	情報機器の種類と特性															0	0.0%	19	1		
4	情報手段の適切な利用		○													1	7.1%	13	3		
5	表計算	○		○												2	14.3%	9	6		
6	ワープロ		○													1	7.1%	13	3		
7	データベース															0	0.0%	19	1		
8	プレゼンテーション	○		○										○		3	21.4%	6	8		
9	進数															0	0.0%	19	4		
10	アナログ・デジタル															0	0.0%	19	4		
11	論理回路															0	0.0%	19	4		
12	伝送技術															0	0.0%	19	4		
13	図形と画像処理															0	0.0%	19	4		
14	マルチメディア表現															0	0.0%	19	4		
15	情報伝達・デザイン															0	0.0%	19	4		
16	アルゴリズム						○				○					2	14.3%	9	2		
17	プログラミング				○		○				○					3	21.4%	6	1		
18	モデル化とシミュレーション					○										1	7.1%	13	3		
19	検索	○								○						2	14.3%	9	2		
20	WWW									○						1	7.1%	13	3		
21	電子メール															0	0.0%	19	5		
22	問題解決の方法															0	0.0%	19	5		
23	トレードオフ															0	0.0%	19	5		
24	情報の収集・発信と個人の責任									○						1	7.1%	13	3		
25	ネットワーク		○		○			○	○							4	28.6%	4	1		
26	セキュリティ・ネット犯罪		○		○							○	○		○	5	35.7%	2	2		
27	個人情報				○					○			○			3	21.4%	6	5		
28	知的所有権				○					○	○		○			4	28.6%	4	4		
29	情報の信頼性・信憑性		○		○					○			○	○		5	35.7%	2	2		
30	情報化と社会への影響			○	○				○	○			○	○		7	50.0%	1	1		

1	解答群からの選択	1	2		5		1	2	2	1			1		2	17	13%	3
2	○×問題		1						1	1			2			5	4%	5
3	適語記入		1	1	4		1		1	3			1	1	13	10%	3	
4	語句説明(記述)	1	2	2	2	2	3	1	1	1	1	4	2		1	23	18%	2
5	数計算(求値問題)					2	1									3	2%	4
6	例をいくつか挙げる	1			1							2	1			5	4%	3
7	感想・考え			1		1	1		1		1	1	1			7	6%	2
8	その他	3	6	4		5	7	3	6	6	2	6		1	4	53	42%	1
計		6	12	8	12	10	14	6	12	12	4	12	8	2	8	126		

年度別出題分野一覧

番号	学校番号 定期考査実施校数	平成15年度					平成16年度					平成17年度				
		1学期	2学期	3学期	年間	順位	1学期	2学期	3学期	年間	順位	1学期	2学期	3学期	年間	順位
1	ハードウェア概論	43.8	35.7	30.8	57.1	3	30.8	20	41.7	50	7	43.5	36.4	8.3	57.7	1
2	ソフトウェア概論	31.3	28.6	38.5	47.6	8	23.1	6.7	16.7	28.6	18	34.8	13.6	8.3	38.5	10
3	情報機器の種類と特性	37.5	42.9	23.1	57.1	3	23.1	29.4	25	44.8	9	13	18.2	0	23.1	16
4	情報手段の適切な利用	62.5	28.6	15.4	61.9	1	42.3	11.8	8.3	44.8	9	34.8	18.2	8.3	42.3	7
5	表計算	37.5	28.6	15.4	42.9	12	26.9	35.3	8.3	44.8	9	26.1	36.4	16.7	42.3	7
6	ワープロ	18.8	14.3	0	23.8	22	26.9	17.6	8.3	37.9	14	21.7	0	8.3	23.1	16
7	データベース	0	7.1	7.7	9.5	24	0	0	0	0	29	0	9.1	0	11.5	27
8	プレゼンテーション	18.8	35.7	0	28.6	18	50	41.2	0	62.1	2	13	18.2	25	34.6	13
9	進数	25	42.9	23.1	52.4	7	11.5	23.5	0	24.1	19	39.1	45.5	0	46.2	5
10	アナログ・デジタル	31.3	28.6	23.1	42.9	12	7.7	41.2	16.7	34.5	15	26.1	45.5	0	46.2	5
11	論理回路	6.3	0	0	4.8	26	0	11.8	0	6.9	25	13	18.2	0	19.2	22
12	伝送技術	6.3	14.3	23.1	28.6	18	15.4	0	16.7	17.2	22	13	22.7	0	23.1	16
13	図形と画像処理	12.5	42.9	46.2	42.9	12	15.4	17.6	8.3	24.1	19	13	13.6	0	19.2	22
14	マルチメディア表現	0	0	7.7	4.8	26	3.8	0	8.3	6.9	25	0	4.5	0	3.8	29
15	情報伝達・デザイン	43.8	21.4	30.8	57.1	3	11.5	11.8	0	17.2	22	13	9.1	0	15.4	24
16	アルゴリズム	6.3	0	0	4.8	26	0	5.9	0	3.4	27	8.7	13.6	16.7	15.4	24
17	プログラミング	6.3	0	0	4.8	26	0	5.9	16.7	10.3	24	8.7	4.5	16.7	15.4	24
18	モデル化とシミュレーション	0	0	0	0	31	0	5.9	8.3	3.4	27	0	0	8.3	3.8	29
19	検索	18.8	50	30.8	47.6	8	26.9	17.6	0	34.5	15	26.1	27.3	16.7	42.3	7
20	WWW	43.8	64.3	46.2	57.1	3	53.8	23.5	25	55.2	5	21.7	36.4	8.3	34.6	13
21	電子メール	18.8	35.7	46.2	47.6	8	38.5	29.4	16.7	51.7	6	4.3	22.7	0	23.1	16
22	問題解決の方法	37.5	0	0	28.6	18	42.3	23.5	0	48.3	8	26.1	9.1	0	23.1	16
23	トレードオフ	12.5	0	0	9.5	24	0	0	0	0	29	4.3	0	0	7.7	28
24	情報の収集・発信と個人の責任	0	0	15.4	4.8	26	23.1	11.8	25	31	17	21.7	4.5	8.3	23.1	16
25	ネットワーク	18.8	28.6	15.4	42.9	12	46.2	23.5	33.3	58.6	4	21.7	13.6	25	38.5	10
26	セキュリティ・ネット犯罪	31.3	28.6	38.5	47.6	8	42.3	35.3	58.3	62.1	2	26.1	22.7	25	50	4
27	個人情報	25	21.4	15.4	42.9	12	30.8	17.6	25	44.8	9	13	9.1	8.3	30.8	15
28	知的所有権	25	42.9	38.5	61.9	1	38.5	47.1	33.3	65.5	1	43.5	27.3	16.7	53.8	2
29	情報の信頼性・信憑性	25	14.3	0	28.6	18	7.7	11.8	16.7	20.7	21	17.4	18.2	25	38.5	10
30	情報化と社会への影響	0	21.4	38.5	33.3	17	30.8	11.8	50	44.8	9	30.4	27.3	41.7	53.8	2

年度別出題形式一覧

	平成15	順位	平成16	順位	平成17	順位
解答群からの選択	28.5%	1	30.1%	1	30.0%	1
○×問題	8.7%	5	7.4%	4	6.0%	5
適語記入	27.1%	2	24.9%	2	22.4%	2
語句説明(記述)	11.2%	3	15.1%	3	16.0%	3
数計算(求値問題)	5.2%	7	4.4%	8	13.8%	4
例をいくつか挙げる問題	9.3%	4	6.0%	6	4.1%	6
感想・考え	4.5%	8	7.2%	5	3.5%	8
その他	5.6%	6	5.0%	7	4.1%	6